2026 年 10 月 22 日
日本銀行福岡支店

Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2026 年 10 月)

当資料は当店ホームページに掲載しています　https://www3.boj.or.jp/fukuoka/

<内容に関するお問い合わせ先>　日本銀行福岡支店営業課 Tel：092-725-5513

１．総論

○　九州・沖縄の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資と設備投資は、増加している。輸出は、緩やかに増加している。

こうした中で、生産は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに増加しつつある。雇用・所得情勢をみると、改善している。

９月短観における企業の業況感は、悪化している。

先行きについては、令和８年熊本地震の復旧・復興動向、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向、ＡＩ関連需要を含む海外の経済・物価動向、コスト高とその波及などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

＜景気判断の前回との比較＞

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		令和8年熊本地震の影響などから一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	個人消費	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
	公共投資	増加している。	増加している。
	設備投資	高水準で推移している。	増加している。
	輸出	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。
生産		熊本地震の影響から一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに増加しつつある。	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに増加しつつある。
雇用・所得		改善している。	改善している。

２．個人消費

○　個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	高水準で推移している。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱ売上高	堅調に推移している。
耐久消費財	家電販売	持ち直している。
	乗用車新車登録台数（含む軽自動車）	持ち直しの動きが一服している。
サービス	旅行・観光	熊本地震の影響から、弱めの動きとなっている。

３．住宅投資

○　住宅投資は、弱めの動きとなっている。

８月の新設住宅着工戸数は、貸家の減少を主因に前年を下回った。

４．公共投資

○　公共投資は、増加している。

９月の公共工事請負金額は、県やその他公共的団体の減少を主因に前年を下回った。

５．設備投資

○　設備投資は、増加している。

９月短観（九州・沖縄地区）における2026年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る計画となっている。

８月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方３か月移動平均）は、前年を上回った。

６．輸出

○　輸出は、緩やかに増加している。

９月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

７．生産

○　生産（鉱工業生産）は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに増加しつつある。

▽主要業種の生産動向

輸　送　機　械	自動車は、持ち直しつつある。船舶は、増加している。
電子部品・デバイス	増勢が一服している。
汎用・生産用・業務用機械	振れを伴いつつも増加基調にある。
化　　学	持ち直している。
鉄鋼・非鉄金属	弱含んでいる。
食　料　品	振れを伴いつつも減少基調にある。

８．雇用・所得

○　雇用・所得情勢をみると、改善している。

労働需給をみると、８月の有効求人倍率は、前月から横ばいとなった。

７月の雇用者所得総額は、現金給与総額と常用労働者数の増加により前年を上回った。

９．物価

○　８月の消費者物価（九州地方、生鮮食品を除く総合）は、前年比＋1.4％となった。

10．金融

○　８月の預金残高をみると、個人預金や公金預金を中心に前年を上回った。

○　８月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。

○　企業倒産は、振れを伴いつつ増加している。

９月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を下回った。

以　上